

アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信

Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)
 Cコース毎月決算型(為替ヘッジあり) 予想分配金提示型
 Dコース毎月決算型(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型
 追加型投信／海外／株式

【特別レポート】

英国の欧州連合離脱の影響について

概要

- 英国での国民投票の結果を受けて、世界の金融市場に大きな動揺が広がっているが、米国株式市場の下落幅は他国の株式市場と比較すると限定的。
- 当ファンドでは、英国の欧州連合(EU)離脱による世界経済・金融市場への影響を直接的に受けやすいと考えられる、金融やエネルギーなどのセクターについては一部を除き非保有。一方で、当ファンドが保有する銘柄群は、強固な財務体質と長期にわたって成長可能なビジネスを有しており、外部環境の影響を受けにくいと見ている。

2016年6月23日に英国でEUからの離脱の是非を問う国民投票が実施され、離脱を支持する結果となりました。これに伴い、米国株式市場を含めて世界の金融市場が大きく動揺したことから、当ファンドの各コースの基準価額も下落しました。

以下に基準価額の動きをご報告し、次頁以降でアライアンス・バーンスタイン(以下、「AB」)*の見通しについて、ご説明いたします。 ※以下、当ファンドの各コースをそれぞれAコース、Bコース、CコースおよびDコースという場合があります。

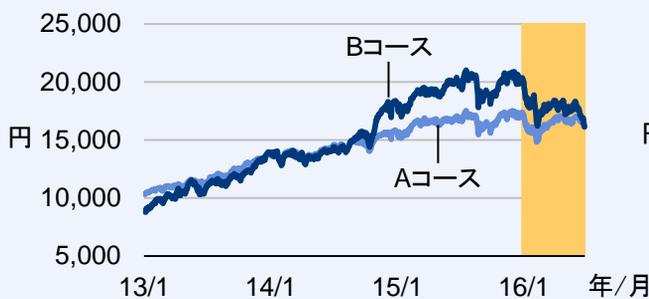
ファンドの基準価額の推移について

当ファンドの各コースの基準価額の推移は以下のとおりです。

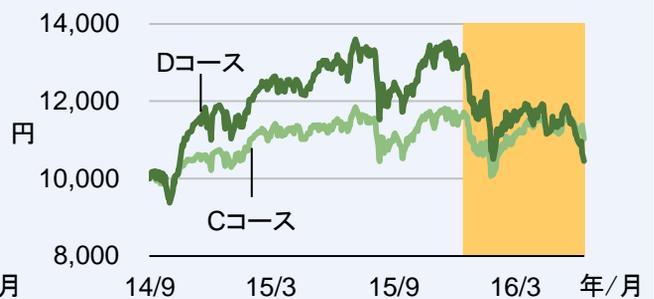
【基準価額(分配金(課税前)再投資)の推移**】

(1万口あたり)

(A/Bコース、期間:2013年1月4日-2016年6月27日)



(C/Dコース、期間:2014年9月16日***-2016年6月27日)



【基準価額(分配金(課税前)再投資)の騰落率と基準価額(2016年6月27日現在)】

	Aコース	Bコース	Cコース	Dコース
2016年6月27日の騰落率	-3.1%	-1.9%	-3.1%	-1.9%
2016年年初来の騰落率	-6.8%	-20.8%	-5.9%	-20.7%
基準価額(1万口当たり)	15,002円	14,842円	10,436円	8,591円

過去の分析は将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

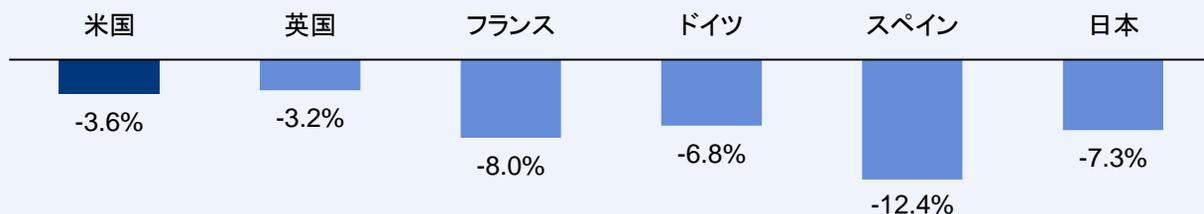
※基準価額は、運用管理費用(信託報酬)控除後のものです。 *アライアンス・バーンスタインおよびABはアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーとその傘下の関連会社を含みます。 **基準価額(分配金(課税前)再投資)は、課税前分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスを示しています。税金、手数料等を考慮していませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。 ***C/Dコースの設定日。

出所: AB

英国のEU離脱を支持する国民投票の結果を受け、世界の金融市場は大きく動揺しました。米国株式市場も市場を代表する株価指数であるS&P 500株価指数の6月24日の騰落率が約▲3.6%となるなど、大きく下落しましたが、欧州各国や日本の株式市場と比較すると、相対的に下落幅は限定的でした。

当ファンドも米国株式市場の下落に伴い基準価額が下落し、2016年6月27日時点の基準価額および騰落率は、前頁表のとおりとなりました。

【2016年6月24日の米国、欧州、日本株式市場の騰落率】



過去の分析は将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

現地通貨ベース。米国：S&P 500株価指数、英国：FTSE 100指数、フランス：CAC40 指数、ドイツ：DAX指数、スペイン：IBEX 35指数、日本：TOPIX 出所：ブルームバーグ

今後の見通しについて

当ファンドでは、英国のEU離脱に伴う世界経済・金融市場への悪影響を直接的に受けやすいと考えられる、金融やエネルギー、素材などのセクターについて、殆ど保有していません(資産運用会社1銘柄のみ)。

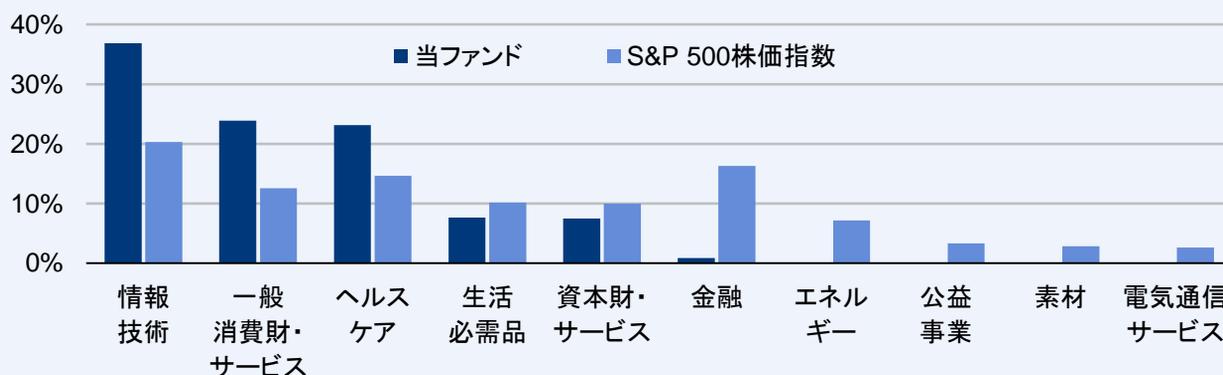
これは、当ファンドがこれまで行ってきた、「景気変動の影響を受けやすい銘柄の組入れを避けて、その企業固有の構造的な成長ドライバーを持つ銘柄群に対して厳選して投資を行う」という投資戦略の結果であり、過去数年の米国株式市場の一時的な下落局面において、奏功してきた主な要因と考えています。

今後の米国株式市場においては、短期的に景気見通しの悪化や流動性に対する懸念などを背景とした株価調整が起こる可能性があります。長期的にはEU離脱に伴う個別企業の業績見直しへの影響が徐々に株価に織り込まれていくと予想されます。

そうした中、当ファンドが保有する、強固な財務体質と長期にわたって成長可能なビジネスを有し、持続的な利益成長が期待できる銘柄群は、業績への影響が軽微であると考えられることから、相対的に評価されていくと見えています。

今回の英国での国民投票の結果が、米国の景気や企業業績に大きな悪影響を及ぼすとは考えていませんが、当面は市場変動性が高まると想定されます。このため、引き続き状況の推移を注視すると同時に、市場の短期的な動向に惑わされることなく、投資哲学と運用の規律を守った運用を続けることで、お客様の長期的な運用成果に貢献していきたいと考えております。

【セクター別配分*】



過去の分析は将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

2016年5月31日現在。当ファンドは、アライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンドのデータに基づきます。小数点第2位を四捨五入しています。セクター別配分は、株式部分を100%として算出しています。*セクター別配分は、MSCI/S&PのGlobal Industry Classification Standard (GICS) の分類で区分しています。

出所：AB

当ファンドの分配方針

Aコース／Bコースの場合

原則として、毎決算時(毎年6月15日および12月15日。休業日の場合は翌営業日)に、以下の方針に基づき分配します。

- 分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収入および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、将来の収益分配金の支払いおよび金額について保証するものではなく、分配対象額が少額の場合等には、収益分配を行わないこともあります。

Cコース／Dコースの場合

原則として、毎決算時(毎月15日。休業日の場合は翌営業日)に、以下の方針に基づき分配します。

- 計算期末の前営業日の基準価額に応じて、以下の金額の分配を目指します。

毎計算期末の前営業日の基準価額	分配金額(1万口あたり、税引前)
11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定
11,000円以上 12,000円未満	200円
12,000円以上 13,000円未満	300円
13,000円以上 14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

- 分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、将来の収益分配金の支払いおよび金額について保証するものではなく、分配対象額が少額の場合等には、収益分配を行わないこともあります。
- ※ 毎計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等、基準価額水準や市場動向等によっては、委託会社の判断で上記とは異なる分配金額となる場合や分配金が支払われない場合があります。
- ※ 基準価額に応じて、分配金額は変動します。基準価額が上記の一定水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配を継続するというものではありません。
- ※ 分配金を支払うことにより基準価額は下落します。このため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。

当ファンドの主な投資リスク

当ファンドは、マザーファンドを通じて主として株式などの値動きのある金融商品等に投資しますので、組入れられた金融商品等の値動き(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)により基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。したがって、元金が保証されているものではありません。当ファンドの運用による損益は全て投資者に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。

基準価額の変動要因

株価変動リスク

経済・政治情勢や発行企業の業績等の影響で株価が変動し、損失を被るリスクがあります。

為替変動リスク

Aコース(為替ヘッジあり)／Cコース(為替ヘッジあり)

実質外貨建資産について為替予約取引などを用いて為替変動リスクの低減を図りますが、市況動向等によっては基準価額に影響する可能性があります。また、対象通貨国と日本の金利差によっては、ヘッジコストが収益力を低下させる可能性があります。

Bコース(為替ヘッジなし)／Dコース(為替ヘッジなし)

実質外貨建資産に対し原則として為替ヘッジを行いませんので、基準価額は為替相場の変動の影響を受けます。

信用リスク

投資対象金融商品等の発行体が経営不安や倒産等に陥った場合に資金回収ができなくなるリスクや、それが予想される場合にその金融商品等の価格下落で損失を被るリスクがあります。また、金融商品等の取引相手方に債務不履行が生じた場合等には、損失を被るリスクがあります。

カントリー・リスク

発行国の政治・経済・社会情勢の変化で金融・証券市場が混乱し、金融商品等の価格が大きく変動する可能性があります。

他のベビーファンドの設定・解約等に伴う基準価額変動のリスク

当ファンドが投資対象とするマザーファンドを同じく投資対象とする他のベビーファンドでの設定・解約等に伴うマザーファンドでの組入金融商品等の売買等が生じた場合、当ファンドの基準価額に影響を及ぼす場合があります。

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
 ※資金動向、市場動向等によっては、運用の基本方針にしたがって運用できない場合があります。

収益分配金に関する留意事項

分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

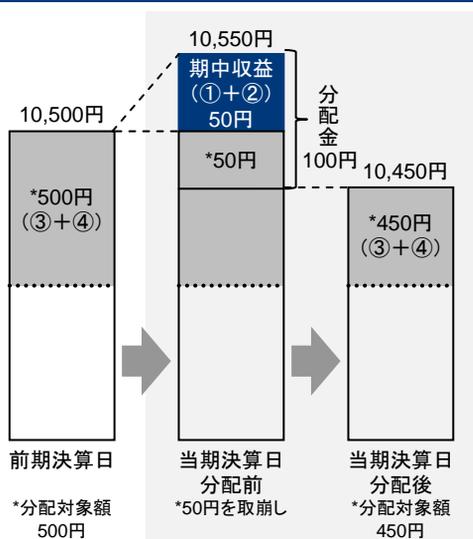
ファンドで分配金が
支払われるイメージ



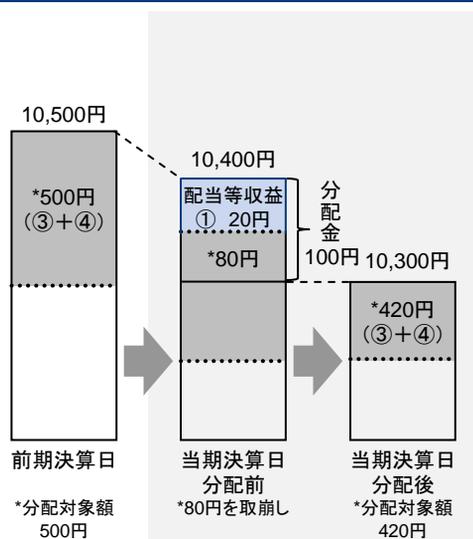
分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

(計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合)

(前期決算日から基準価額が上昇した場合)



(前期決算日から基準価額が下落した場合)

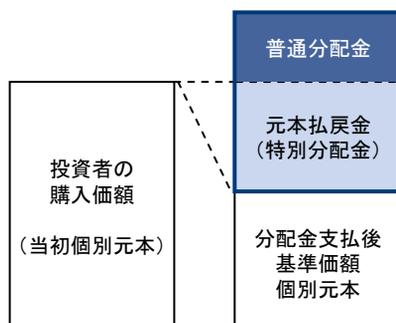


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

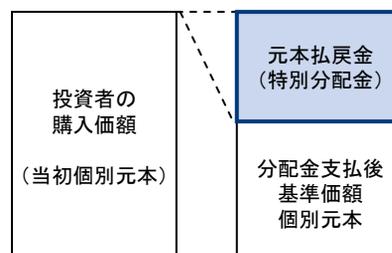
投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

(分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合)



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

(分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合)



普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

当資料のご利用にあたっての留意事項

- + 当ファンドは、マザーファンドを通じて主として株式などの値動きのある金融商品等に投資しますので、組み入れられた金融商品等の値動き(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)により基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。したがって、元金が保証されているものではありません。当ファンドの運用による損益は全て投資者に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。
- + 投資信託は預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護対象ではありません。
- + 登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- + 当資料は情報の提供を目的としてアライアンス・バーンスタイン株式会社が作成した販売用資料です。当資料は信頼できると判断した情報をもとに作成しておりますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。また、当資料に掲載されている予測、見通し、見解のいずれも実現される保証はありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあります。当資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。
- + 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があります、その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。
- + 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- + 当ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社において投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ずお受取りになり、記載事項をご確認のうえ、投資の最終決定はご自身でご判断ください。

お客様にご負担いただく費用

お客様には下記の費用の合計額をご負担いただきます。なお、下記の費用は、お客様が当ファンドを保有される期間等に応じて異なるものが含まれているため、合計額を表示することができません。

直接的にご負担いただく費用

購入時手数料 購入価額と購入口数を乗じて得た金額に、販売会社が別に定める購入時手数料率(3.24%(税抜3.00%)を上限とします。)を乗じて得た額とします。

信託財産留保額 ありません。

信託財産で間接的にご負担いただく費用

運用管理費用 (信託報酬) 純資産総額に対して年1.6956%(税抜年1.57%)の率を乗じて得た額とします。

※Aコース/Cコースおよびマザーファンドの投資顧問会社の報酬は、委託会社の受取る報酬の中から支払われます。
※当ファンドの計算期間を通じて毎日計上され、毎計算期末または信託終了のときに、信託財産中から支払われます。

その他の費用・手数料

●金融商品等の売買委託手数料/外貨建資産の保管等に要する費用/信託財産に関する租税/信託事務の処理に要する諸費用等

※お客様の保有期間中その都度かかります。なお、これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を表示できません。

●監査費用/法定書類関係費用/受益権の管理事務に係る費用等

※純資産総額に対して年0.1%(税込)の率を上限として、信託財産より間接的にご負担いただく場合があります。かかる諸費用は、当ファンドの計算期間を通じて毎日計上され、毎計算期末または信託終了のときに、信託財産中から委託会社に対して支払われます。

ファンドの主な関係法人

・委託会社 (ファンドの運用の指図を行う者)	アライアンス・バーンスタイン株式会社 www.abglobal.co.jp
・投資顧問会社 (マザーファンド、AコースおよびCコースの運用の一部の委託先)	アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー、アライアンス・バーンスタイン・リミテッド、アライアンス・バーンスタイン・オーストラリア・リミテッド、アライアンス・バーンスタイン・香港・リミテッド
・受託会社 (ファンドの財産の保管及び管理を行う者)	三井住友信託銀行株式会社 (再信託受託会社：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)

販売会社

販売会社は、受益権の募集・販売の取扱い、一部解約の実行の請求の受け付け、収益分配金の再投資ならびに収益分配金、償還金、一部解約金の支払いの取扱い等を行います。

■投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
エイチ・エス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第35号	●			
ごうぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第43号	●			
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	●			
株式会社長崎銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第11号	●			
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	●	●	●	●
ふくおか証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第5号	●			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	●	●	●	●

(50音順)

■設定・運用は

アライアンス・バーンスタイン株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第303号

【加入協会】一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/日本証券業協会/一般社団法人第二種金融商品取引業協会